

# みんなの願いは窓口無料・すすめる会ニュース24-4号

2025年1月20日(月)発行 福祉医療給付制度の改善をすすめる会  
〒380-0838 長野市県町593長野県高校教育会館3階・長野県社保協内 電話 026-219-6314

## 子ども医療費 完全窓口無料が続々と増える 34 市町村で実施、県内市町村の 44%超

県内の子ども医療費の「完全窓口無料」実施市町村が続々と増えています。窓口での受給者負担金をなくす、「完全」な窓口無料です。

2025年1月から松本市が完全窓口無料となりました。また4月からは長野市、塩尻市、安曇野市、松川村、山形村、朝日村が完全窓口無料を実施します。池田町も来年度中の実施を表明しています。これまでに実施していた市町村と合わせて、34自治体・県内市町村の44%で子ども医療費の完全窓口無料が実施されます。

### 【子ども医療費完全窓口無料・県内市町村】

伊那市 駒ヶ根市 中野市 飯山市 長和町  
青木村 原村 辰野町 箕輪町 飯島町  
南箕輪村 中川村 宮田村 阿智村 平谷村  
根羽村 下條村 天龍村 大鹿村 上松町  
木曾町 王滝村 大桑村 麻績村 山ノ内町  
栄村

(1月～) 松本市

(4月～) 長野市 塩尻市 安曇野市 松川村  
山形村 朝日村

(来年度中) 池田町

松本市、長野市など人口の多い自治体で実施となるため、県内の子ども人口の過半数が完全窓口無料になります。どこで生まれても、どこに住んでいてもお金の心配なく安心して医療にかかれるよう、全市町村での子ども医療費完全窓口無料にむけて、さらに運動をすすめていきます。



### ○意見書採択運動に取り組んでいます○

すすめる会は市町村議会12月定例会で意見書採択運動に取り組みました。「福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減調整措置をすべて廃止することを求める」陳情を、県内12町村議会に提出し、10の議会で採択されました。

### 【意見書を採択した議会】

上松町 南木曾町 木祖村 大桑村 山形村  
朝日村 筑北村 山ノ内町 木島平村 栄村

### 木祖村議会の意見書

写

福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減調整措置をすべて廃止することを求める意見書

自治体が実施する福祉医療給付制度(子ども医療費助成や障がい者医療費の助成等)は拡充がすすんできました。しかしながら制度の内容をみると、対象年齢、所得制限、障がい種別による違い、窓口での一部負担の有無など、自治体間で大きな格差が生じています。一部負担はたとえ少額であっても受診の抑制につながります。どこで生まれ、どこに住んでいても、誰もがお金の心配なく必要な医療が保障されるべきです。そのためには、国が責任をもって、子どもや障がい者等の医療費助成制度を確立するべきです。

国は、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減調整措置を廃止しました。しかし、その他の医療費助成については減額調整措置が残されています。減額調整措置は自治体の行う医療費助成にたいしてペナルティをかけるものであり、制度拡充の壁となっています。子ども医療費助成と同様に、すべての医療費助成への減額調整措置を廃止すべきです。

以上の趣旨から、以下の項目について求めます。

- 1.自治体が実施している福祉医療給付制度(子ども医療費助成、障がい者医療費助成等)を国の制度として確立すること
- 2.子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減調整措置の廃止に留まらず、障がい者等その他の医療費助成に係る同保険の減額調整措置についても、すべて廃止すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和6年12月13日  
木祖村議会議長

内閣総理大臣 石破 茂 様